

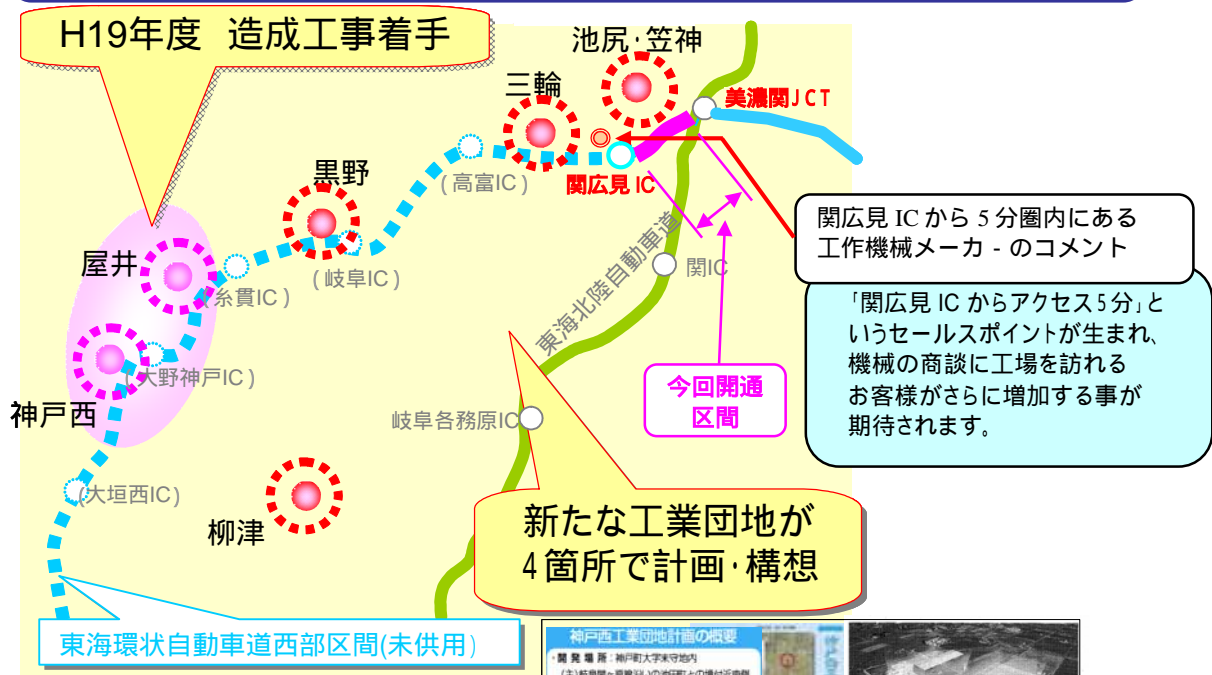
みのせき せきひろみ  
**美濃関JCTから関広見IC間の開通により、東海環状自動車道が西側へ延伸します。**  
**今後の西側の完成に大きな期待が寄せられています。**

- ・今回の美濃関JCTから関広見IC間の開通により、東海環状自動車道が西側へ延伸することになります。(豊田東JCTから関広見IC間約76kmのうち、豊田東JCTから美濃関JCT間約73kmはH17.3に開通済み)
- ・これまでの東側開通により、岐阜県東濃地域等で工業団地の立地が大幅に増加しましたが、今後の西側の整備に合わせた工業団地計画も進行しており、地域産業の更なる活性化が期待されます。

東海環状自動車道の東側沿線に立地する工業団地の数は、開通15年前の1990年頃と比べて約4倍に増加しました。



東海環状自動車道の西側沿線に、H19年度中に2箇所の工業団地が造成工事に着手、4箇所で計画・構想が発表されています。



( )内IC名称は仮称

**神戸西工業団地計画の概要**

開発者：神戸大学東守地内  
 (主) 阪東興産(株) 池田町との境付近南側  
 開発面積：約7.5ha  
 工業用地面積：約6.0ha  
 事業主体：東土地開発公社  
 事業期間：平成19年度～平成20年度

出典：岐阜県神戸町HPより

〔中部経済新聞H20.6.26〕  
 東海、あひつちで工場建設が進む  
 「神戸西工業団地」(神戸町)

せき

関市西部の利便性が向上します。

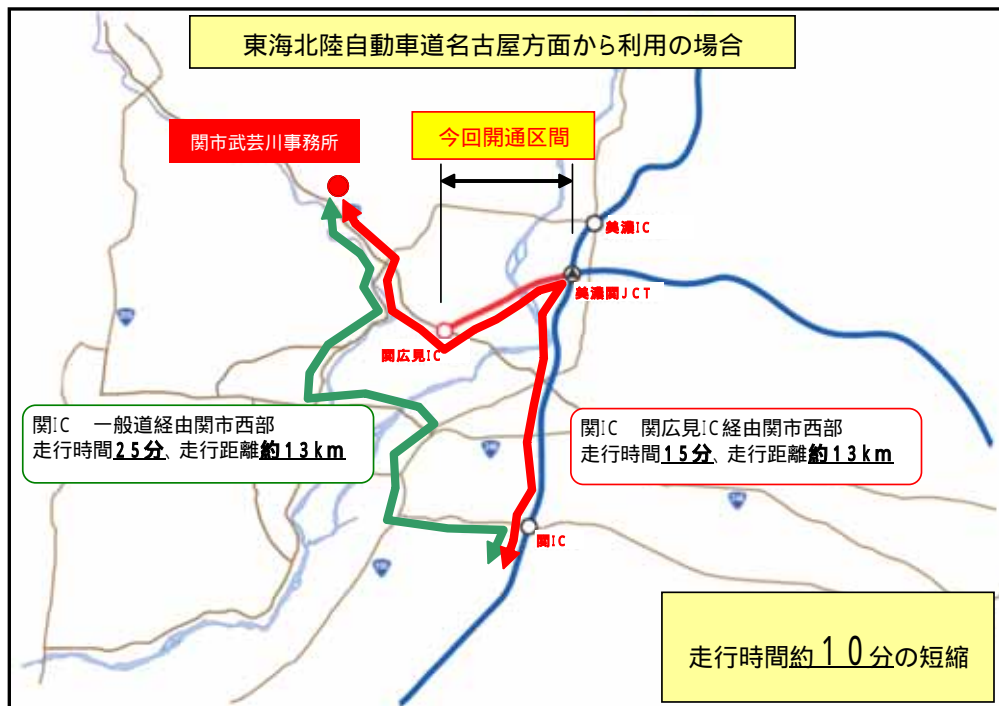
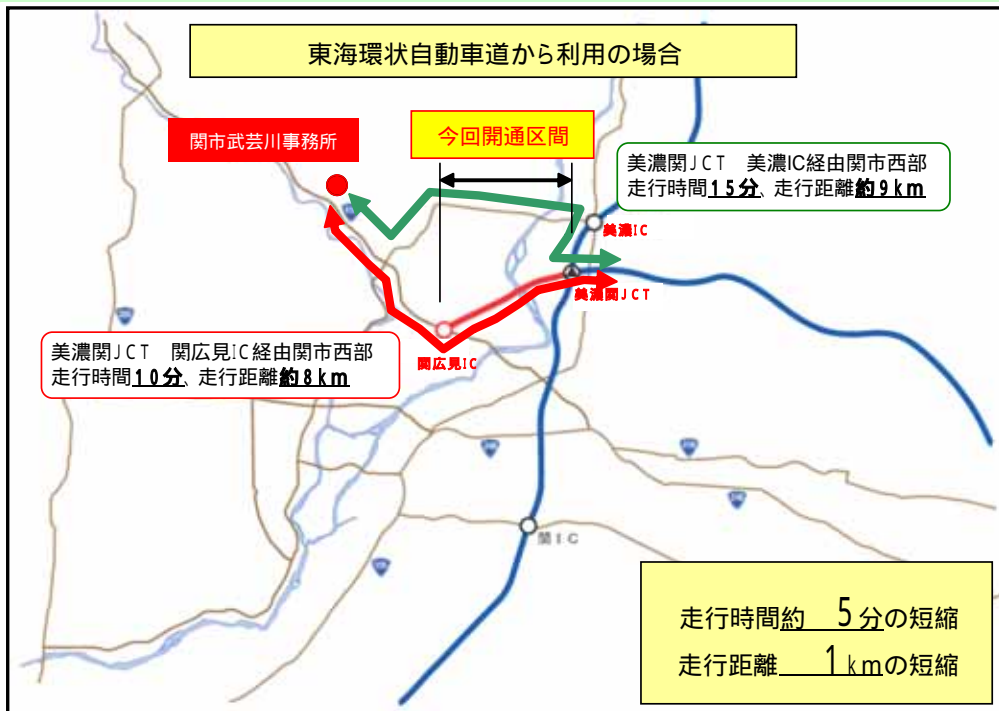
また、今後の西側整備に更なる期待が高まります。

みのせき

せきひろみ

美濃関JCTから関広見IC間の開通により、長良川を横断する新たな道路が誕生します。東海環状道を利用し関市西部へ行く場合、東海北陸道の美濃IC経由に比べて走行時間で約5分、走行距離で約1kmの短縮となります。また、東海北陸道名古屋方面から関ICを経由した場合と比べると、走行時間で約10分の短縮となります。

今後、西側が整備されることにより、更なる利便性の向上が期待されます。



所要時間の算定：開通区間は規制速度、東海北陸道及び一般道は走行実績値をもとに算出